

市役所の仕事 見直しています

～平成16年度事務事業評価結果～

蒲郡市では、行政改革を進めるために、平成15年度から事務事業評価を本格導入し、市役所で行っているすべての事務事業(仕事)を見直しています。



事務事業評価とは…

市役所の各課で実施している事業について、PLAN(計画)→DO(実践)→CHECK(評価)→ACTION(改善)→PLAN(計画)のサイクルの中で、自己評価と改善を繰り返すシステムのことです。蒲郡市では、行政改革を進めるための重要な手段として、このシステムを導入しています。

事務事業評価のねらいは…

行政活動を住民志向、成果志向にシフトさせようとするもので、次の3つを目指しています。

- 1 市民との行政情報の共有化
- 2 職員の意識改革
- 3 事務事業の見直し

評価の進め方は…

平成13年度の事務事業について、平成14年度に各課1事業ずつの試行評価を行いました。平成15年度から事務事業評価を本格導入し、毎年1/3ずつの事業、3年で全事業を評価する方式で評価を行ってきました。今回、報告する評価(平成17年度に実施)で、全事業の評価が一巡しました。

評価の仕方は…

今まで感覚的にとらえていたそれぞれの事務事業について、事業の概要、投入した事業費・人員、その成果などを、できるだけ数値を用いて客観的に評価をし、1つの事業について1枚の評価表を作ります。

この評価表は、それぞれの事業の担当課長補佐または係長が評価(作成)をし、課長が点検をします。そのあと、担当部長が評価をします。別々に評価することによって、より客観的な評価になることを目指しています。

評価の項目は…

事業の「達成度」、「経済効率性」、「事務効率性」、「必要性」および「市民参加度」の5項目について、0点から3点の4段階評価をし、これらとは別にAからDの4段階評価の総合評価を行っています。

総合評価	内容
A	現在の事業の進め方で十分効果があがっている。
B	事業の進め方に改善が必要である。
C	事業の計画、内容および規模などの改善が必要である。
D	事業の廃止の検討が必要である。

平成16年度事業事務評価表

担当	総務部	行政課	内職等	1402
----	-----	-----	-----	------

事業コード	事務事業名	行政改革推進事業
根拠法令等	蒲郡市行政改革大綱	A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名	行政
市民とともに歩むまちづくり		

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	今年度から行政改革委員会の活動として、事務事業の外部評価を開始した。
経済効率性	3	3	行政改革委員会は委員長(大学教授)以外は無報酬であり、外部評価も手作りで実施している。
事務効率性	2	2	行政改革委員会の効率的な活動のためには、相当程度の事務局事務が必要となる。
必要性	3	3	各種行政を展開していく中で、常に意識し実施していかねばならない事務事業である。
小計	11.12満点中	11.12満点中	
市民参加度	1	2	市民への広報としてシンポジウムを実施しているが、積極的な参加は少ない。
合計	12.15満点中	13.15満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	行政改革推進は市政の重要なテーマであり、市民への情報発信が更に必要である。
------	---	---	---------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・市民の行政改革への参加、啓発として、平成15年度から年1回市民会館においてシンポジウムを実施している。
- ・行政改革委員会の活動として、平成16年度から、市の実施する事務事業について外部評価を開始した。

⑧今後改善すべき点

- ・平成17年度策定予定の集中改革プランについて、市内部、市民代表としての行政改革委員会協力の上で完成を目指したい。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載